

拠出金名: 中央緊急対応基金拠出金

国際機関等名	中央緊急対応基金 (英文名称・略称) Central Emergency Response Fund (CERF)				
種 別	☒ 国連(事務局) ☐ 国連(基金・計画) ☐ 国連専門機関 ☐ その他				
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局緊急・人道支援課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	188,000	2,000		1米ドル = 94円	100
平成21年度	103,000	1,000		1米ドル = 103円	100
平成20年度	113,000	1,000		1米ドル = 113円	100
当該拠出金の目的・用途等	大規模自然災害発生時などにおける人道支援				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)(千米ドル)	
	国 名	金額 (千米ドル)	拠出率(注1) (%)		
1位	ノルウェー	65,484	15.5	当該年度の収入 428,744	
2位	スウェーデン	64,370	15.2	当該年度の支出 415,224	
3位	英国	60,006	14.2	次年度への繰越 13,520	
4位	オランダ	54,984	13.0	会計検査機関名	
5位	スペイン	39,585	9.4	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
日本は17位、拠出率0.5%				(現在の構成員の出身国: 英, 南ア, 中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
CERFは、我が国や主要ドナーによる従来型の援助では手が届きにくい人道支援の実施を補完するもの。CERFへの拠出を通じて、大規模自然災害や紛争の発生に際して人道支援の緊急初期対応、ドナーの関心が低い「忘れられた危機」国・地域への対応が可能となる。また、CERFへの拠出により、我が国の人道支援体制が一層強化されるとともに、国際社会の人道支援における対応能力強化にも貢献するとの評価。 CERFの前身である中央緊急回転基金は、一定額の資金をプールするローン型の回転基金として存在していたが、十分な資金が集まらず、また、各機関が返済義務を負うことから基金の機動的な運用が困難であったため、国連の人道支援改革の柱の一つとして、同回転基金を改組する形でCERFが設立された。 CERFが設立されて5年が経過したが、質の高い報告システムを確立することを通じて、活動内容と資金管理の質の向上に取り組んでいる。またCERFは、少数の加盟国に多くの資金を頼っているが、特定のドナーに過度に頼らないよう、ドナーの多様化を進めるべく努力している。 なお、CERFを管理する国連人道問題調整部(UNOCHA)は、従前の活動規模を維持しつつも、2011年の予算は過去20年間で初めて純減となるなど、財政合理化を積極的に進めている。					
邦人職員数 うち幹部以上 (注2)	12人 うち 0人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	547人 2.2%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
CERFは、国連人道問題調整部(UNOCHA)内部に2006年に新たに設立された部門であるため、UNOCHAに対して邦人職員の送り込みについて要請していく。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) CERFはUNOCHAの一部であることから、邦人職員数及び機関全体の職員数はUNOCHAと同じものを使用。